

平成26年度事業報告

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

I 当法人の概況

1 役員に関する事項

(1) 理事及び監事に関する事項

理 事

定 数 9人以上13人以内(会長、副会長及び専務理事を含む)

任 期 選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会
の終結の時まで

現在数 常勤1人、非常勤10人、計11人

監 事

定 数 2人

任 期 選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会
の終結の時まで

現在数 常勤なし、非常勤2人、計2人

(平成27年3月31日現在)

職 名	氏 名	任 期	常勤 非常勤	報酬等	所 属
会 長	佐々木亮子	H25.4.1～ 平成27年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	(有)アールズセミナー 代表
副会長	山谷敬三郎	〃	〃	〃	北翔大学大学院 研究科長
理 事	原 努	H25.6.20～ 平成27年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道中学校長会 幹事
〃	森 政徒	H26.6.20～ 平成27年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道PTA連合会 前副会長
〃	渡辺 泰典	H25.6.20～ 平成27年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道青年団体協議会 会長
〃	澤田 弘志	H25.4.1～ 平成27年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道商工会連合会 参与

職名	氏名	任期	常勤 非常勤	報酬等	所属
理事	伊藤 一哉	H25. 6. 20～ 平成27年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	北海道新聞社 編集局生活部長
〃	大石 春雄	H25. 4. 1～ 平成27年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	札幌市青少年育成委員会 連絡協議会副議長
〃	荒木関 栄	H25. 4. 1～ 平成27年度定時評議員 会終結の時まで	〃	〃	旭川市青少年育成部 連絡協議会会長
〃	池田 秀幸	〃	〃	〃	空知管内青少年育成 運動推進指導員会会長
専務理事	濱口登代喜	H26. 6. 20～ 平成27年度定時評議員会 終結の時まで	常勤	〃	北海道青少年育成協会 事務局長
監事	西村 俊二	H25. 4. 1～ 平成29年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	〃	税理士
〃	岡田 正樹	〃	〃	〃	札幌日本大学学園 事務局長

(2) 評議員に関する事項

定数 9人以上13人以内

任期 選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の
終結の時まで

現在数 常勤なし、非常勤11人、計11人

(平成27年3月31日現在)

職名	氏名	任期	常勤 非常勤	報酬等	所属
評議員	中川 尚之	H26. 6. 20～ 平成29年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	北海道高等学校長協会
〃	小林 一三	〃	〃	〃	北海道小学校長会 事務局幹事

職名	氏名	任期	常勤 非常勤	報酬等	所属
評議員	横山 直満	H25. 4. 1～ 平成 29 年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	北海道市長会事務局長
〃	山内 康弘	H25. 6. 20～ 平成 29 年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道町村会事務局長
〃	高崎 盛雄	H25. 4. 1～ 平成 29 年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道子ども会育成連合会 常務理事兼事務局長
〃	扇間 康弘	H26. 6. 20～ 平成 29 年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	日本ボーイスカウト 北海道連盟 副コミッショナー
〃	林 光彦	H25. 6. 20～ 平成 29 年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道社会福祉協議会 常務理事
〃	時田 昭子	H25. 4. 1～ 平成 29 年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道女性団体連絡協議会 副会長
〃	菅原 光宏	〃	〃	〃	北海道経済連合会 理事事務局長
〃	浅野 正昭	H26. 6. 20～ 平成 29 年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	北海道農業協同組合中央会 農業振興部長
〃	稲垣 利彰	H25. 4. 1～ 平成 29 年度定時評議員会 終結の時まで	〃	〃	札幌家庭裁判所 家事調停委員

2 賛助会員に関する事項

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

種類	前年度末		当年度末		増減	
	数	人・団体	数	人・団体	数	人・団体
普通賛助会員 個人	56	人	60	人	4	人
普通賛助会員 青少年関係団体	54	団体	52	団体	△2	団体
特別賛助会員	150	団体	150	団体	0	団体
合計	260	人・団体	262	人・団体	2	人・団体

3 職員に関する事項

現在数 6名

(平成27年3月31日現在)

役職	氏名	常勤・非常勤の別
事務局次長	内田 道明	常勤
主任	竹本 郁子	〃
主事	福田 拓哉	〃
専門指導員	千葉 祐一	〃
嘱託	伊藤 友紀	〃
嘱託	上杉 絵巳子	〃

II 事業に関する事項

1 平成26年度事業の実施状況

別添のとおり

2 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	決議事項	結果
平成26年6月5日	① 平成25年度事業報告について ② 平成25年度収支決算について（監査報告） ③ 評議員会の開催及び目的である事項について ④ 事務局長の任命について	承認 承認 承認 承認
平成26年6月30日 (決議の省略)	① 専務理事の選任について	承認
平成27年3月11日	① 平成27年度活動方針及び事業計画（案）について ② 平成27年度予算（案）について ③ 資金調達及び設備投資の見込みについて ④ 平成27年度資金管理運用執行方針及び計画（案）について ⑤ 諸規程の一部改正について	承認 承認 承認 承認 承認

(2) 評議員会

開催年月日	決議事項	結果
平成26年6月20日	① 平成25年度収支決算について ② 評議員の補充選任について ③ 理事の補充選任について	承認 承認 承認

(3) 基金管理運営委員会

開催年月日	内 容
平成26年8月6日	・平成25年度北海道青少年基金事業実績及び収支決算について ・平成26年度北海道青少年基金運用益交付団体の決定について ・平成26年度「青少年団体・グループ及び青少年顕彰」の決定について
平成27年2月27日	・北海道青少年基金の造成現況について ・北海道青少年基金運用益の交付・顕彰現況について ・平成27年度北海道青少年基金事業計画（案）について ・北海道青少年基金運用益交付要綱の一部改正について

3 所官庁への届出事項

届出年月日	届出事項
平成26年6月23日	平成25年度事業状況報告等の提出
平成26年7月10日	理事・評議員変更の届出
平成27年3月23日	平成27年度事業計画等の提出

4 行政機関から受けた監督上の処分又は指導に関する事項

検査年月日	検査内容	処分または指導
平成26年4月17日	平成25年度補助金事業実績報告に係る現地調査 (道環境生活部)	なし
平成26年10月17日	法人の運営組織及び活動の状況に関する立入検査 (道総務部)	なし

5 事業報告の付属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当すると思われる事項は特になし。

II-1. 平成26年度事業の実施状況

近年、青少年の育成を取り巻く状況は、いじめや不登校、児童虐待、有害情報の氾濫と少年の被害、ニートなど若者の社会的自立の遅れ、少年による重大事件の発生など、憂慮すべき様々な問題が生じており、行政や関係団体、企業、NPOなど様々な立場からの連携した取り組みが求められております。

このため、当協会は、平成26年度においても北海道や関係機関・団体等と密接に連携し、青少年の健全育成のため、各般の事業の推進に努めました。

平成26年度における事業の実施状況は、次のとおりです。

I 青少年健全育成の推進

事業名	事業の概要	備考
1. 青少年育成住民運動促進事業	運動を効果的に推進するため、全道に青少年育成運動推進指導員を配置し、関係者との合同会議を開催するなどして、地域での青少年育成運動についての共通理解を深めるとともに、関係団体の連携による地域ぐるみの運動の促進に努めた。	
(1) 北海道青少年育成運動推進指導員の設置	<p>○定員 238人 (内訳) (総合) 振興局(青少年指導員)、教育局(社会教育主事) (総合) 振興局管内(青年代表) 各1人 札幌市10人、旭川市・函館市は各3人 小樽市・苫小牧市・帯広市・釧路市は各2人 その他の市及び町村各1人</p> <p>○活動 (1) 青少年育成運動(地域行事・活動に参加) (2) 地域団体等の事業を実施 (3) 非行防止、環境浄化(巡回パトロールなど) (4) 行政との連携(市町村行事等に参加) (5) 当協会の事業推進(地域住民に情報提供など)</p>	
(2) 青少年育成地域合同会議の開催(北海道と共催)	<p>全道14箇所(各(総合)振興局等)で開催し、青少年育成運動推進指導員や市町村青少年行政担当者等が出席した。</p> <p>○期日 平成26年5月13日(火)～6月26日(木) ○会場 各(総合)振興局単位(14会場) ○対象 (1) 青少年育成運動推進指導員 (2) 市町村青少年行政担当者 (3) 青少年育成市町村民会議関係者</p> <p>○参加者 397名(総計) ○内容 (1) 平成26年度青少年育成施策の推進について (2) 少年非行の概況について (3) 平成26年度活動方針及び事業計画について (4) 北海道青少年基金の運用等について (5) 意見交換 北海道青少年育成運動推進指導員の役割並びに行政及び市町村民会議との連携について</p>	
(3) 市町村民会議等の連携強化	地域における運動の中核である青少年育成市町村民会議(現在69市町村設置)の活動状況を把握したほか、未設置市町村に対しては結成促進に努めた。また、市町村民会議等への啓発	

事業名	事業の概要	備考
	<p>資材の配付や機関誌等による情報提供を行い、地域の連携の強化や運動の支援を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○活動状況の把握 <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度活動状況を取りまとめ、当協会ホームページで公開した。(全市町村民会議) ・現地調査 京極町健全育成会 俱知安町青少年育成会 共和町青少年育成協会 豊頃町青少年育成連絡協議会 ○結成要請(現地) 岩内町、日高町、平取町、新ひだか町、新得町、清水町 	
(4) 青少年問題を考える地域懇話会	<p>青少年に関する諸問題について学識経験者と地域の活動指導者等による懇話会を市町村民会議との共催により、前年度と同様2回開催し、多数の関係者の参加により、地域の現状や課題解決の方策等について、意見交換が行われた。</p> <p>(浦河町開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○期 日 平成27年2月6日(金) ○場 所 浦河町総合文化会館2階 第3研修室 ○共 催 浦河町青少年育成対策室協力団体幹事会 ○テーマ「青少年の心を育てるために ～家庭・学校・地域との連携のあり方について～」 ○参加者 地元青少年育成関係者 35名 ○出席者 話題提供：札幌国際大学スポーツ人間学部 スポーツビジネス学科教授 佐久間 章 演題：「次代の青少年を育むために」 コーディネーター 北海道教育庁日高教育局教育支援課 社会教育指導班主査 横山 宏樹 <p>(稚内市開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○期 日 平成27年2月19日(木) ○場 所 稚内総合文化センター2階 会議室B ○共 催 稚内市教育委員会 稚内市子ども安全育成センター ○テーマ「地域子どもたちを守り育てるために ～家庭・学校・地域は何をすべきか～」 ○参加者 地元青少年育成関係者 41名 ○出席者 話題提供：地方独立行政法人北海道立総合研究機構 建築研究本部北方建築総合研究所 環境科学部長 松村 博文 演題：「地域活動を活性化させるために何が必要か」 コーディネーター 北海道教育庁宗谷教育局教育支援課 社会教育指導班主査 田中 豊 	

事業名	事業の概要	備考
2. 青少年を育成する環境づくり推進事業	青少年の健全な育成について、社会全体が取り組む環境づくりを進めるため、北海道青少年育成大会や青少年育成運動活性化研究協議会など関連事業を開催し、青少年問題についての共通理解を深めた。	
(1) 北海道青少年育成大会の開催（北海道と共催）	<p>地域で活動している青少年育成関係者が一堂に会し、全道の青少年関係者が参加する最大規模の大会として定着しており、基調講演や表彰、「少年の主張」全道大会等を行い、本道における青少年育成活動の一層の推進をアピールすることができた。</p> <p>○期 日 平成26年9月5日（金）</p> <p>○場 所 道民活動センター（かでの2・7）ホール</p> <p>○参加者 青少年育成関係者 423名</p> <p>○内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会式：主催者挨拶 ・平成26年度北海道社会貢献賞表彰式 ・平成26年度北海道青少年基金事業顕彰表彰式 ・来賓祝辞 ・平成26年度「少年の主張」全道大会発表、表彰 （札幌市及び14(総合)振興局地区代表）：16人 最優秀賞 （宗谷地区代表）稚内市立稚内南中学校2年 熊谷 七海 テーマ：「素直に向き合うことの大切さ」 ・基調講演 演 題：「子どもたちをめぐるネット・ケータイの現状」 講 師：藤川 大祐（千葉大学教育学部教授） ・青少年の活動発表 北海道大学落語研究会 	
(2) 青少年育成運動活性化研究協議会の開催	<p>青少年育成運動推進指導員のほか、道内各地の関係者やボランティアを対象として、今後の青少年育成運動の活性化を図るため、講演や各テーマを設けた分科会を通じ、地域での指導者等が運動の現状や課題等について研究協議を行い、運動についての共通理解を深めた。</p> <p>○期 日 平成26年10月28日（火）</p> <p>○場 所 道民活動センター（かでの2・7）ホールほか</p> <p>○参加者 北海道青少年育成運動推進指導員、青少年育成関係機関・団体の関係者、青少年育成運動を進めている住民組織の会員、(総合)振興局・市町村青少年行政関係職員、青少年補導センター補導委員、少年補導員、更生保護関係者等 計248名</p> <p>○内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基調講演 演 題：「地域で子どもを育てる」 ～アフタースクールの挑戦～ 講 師：平岩 国泰（特定非営利活動法人放課後 NPOアフタースクール代表理事） ・分科会 	

事業名	事業の概要	備考
	<p>(第1分科会) テーマ：「青少年育成運動について考える」 ～地域における推進指導員の活動と連携～ (ワールドカフェ方式) ファシリテーター：北海道立生涯学習推進センター主査 澤田 慎也 助言者：公益財団法人北海道青少年育成協会 専務理事兼事務局長 濱口登代喜</p> <p>(第2分科会) テーマ：「青少年の非行とスマホ、危険ドラッグの現状を知る」 ～子どもたちを守るために大人ができること～ 話題提供者：北海道警察本部生活安全部 少年課非行対策係長 吉田 崇文 コーディネーター 北海道教育庁石狩教育局教育支援課 社会教育指導班社会教育主事 一ノ関太郎</p> <p>(第3分科会) テーマ 「青少年の体験活動・居場所・地域交流について」 ～地域社会で子どもを育むために～ 話題提供者：札幌市西区青少年育成委員会 会長 石井 光郎 助言者：特定非営利活動法人放課後NPOアフタースクール 代表理事(基調講演講師) 平岩 国泰 コーディネーター 北海道教育庁空知教育局教育支援課 社会教育指導班社会教育主事 宮坂 豪</p>	
(3) 明るい家庭づくり道民運動の推進	<p>「道民家庭の日」の制定後15周年を迎え、本運動をより一層推進するため、民間企業等の協力のもと、新たなイメージキャラクターを広く募集するとともに、新キャラクターの啓発用着ぐるみ(1体)を新たに作成したほか、各種啓発資料(資材)を市町村等の関係機関・団体に作成配付し、普及啓発に努めた。</p> <p>また、「家族ふれあい優待制度」の普及促進を図るため、関係施設等に協力を要請し、協賛店・施設の拡大に努めたほか、「道民家庭の日」絵画コンクールを実施し、全道の小中学生への応募呼びかけや北海道庁ロビー等における入賞作品展の開催により、「道民家庭の日」の普及啓発に努めた。</p> <p>○「道民家庭の日」の普及促進 新イメージキャラクターの募集 ・募集期間 平成26年9月1日～10月24日(54日間) ・応募数 451点(道内及び20都府県) ・選考委員会 平成26年12月8日 新キャラクターを活用した啓発資料等の作成 ・ポスター、リーフレット、ポケットティッシュ、メモ帳、(ミニ)のぼり、横断幕、着ぐるみ</p>	

事業名	事業の概要	備考
	<p>○家族ふれあい優待制度の普及促進 各市町村や推進指導員に情報提供や協力依頼等をしたほか、北海道が進める「北のめぐみ愛食レストラン」や道教委が進める「家庭教育サポート企業」に対し協賛依頼を行った。</p> <p>《協賛店・施設》 ホテル・旅館、飲食店、博物館・水族館、テーマパーク・果樹園、ボウリング場、商店、キャンプ場など 計251ヶ所</p> <p>○「道民家庭の日」絵画コンクール2014の実施 全道の小・中学校児童生徒の応募原画の中から審査により入選作品を決定し表彰するとともに、入賞作品展を開催した。 (応募総数：60校/442点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最優秀賞 2点 (賞状、盾) (小学校の部) 北海道教育大学附属旭川小学校3年 橋本 心寧 「楽しかったなあ 家族で海遊び！」 (中学校の部) 七飯町立七飯中学校3年 松田 侑子 「手を繋いで帰ろうか 故郷へ」 ・優秀賞 4点 (賞状、盾) ・優良賞 6点 (賞状、盾) ・佳作 24点 (賞状) ・学校賞 2校 (賞状) <p>○絵画コンクール入賞作品展の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道庁1階「道民ホールB」 (入場者数：173名) (平成26年11月25日～26日) ・札幌駅前通地下広場 (入場者数：400名) (平成27年 1月16日) ・各総合振興局・振興局庁舎 (平成26年12月15日～19日/上川) (平成27年 1月 5日～ 9日/根室) (平成27年 1月20日～23日/宗谷) (平成27年 2月 2日～ 6日/オホーツク) (平成27年 2月16日～20日/渡島) (平成27年 2月23日～27日/胆振) <p>○「道民家庭の日」街頭啓発活動(道、道警、道教委と共催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日時 平成26年7月～11月 (月1回) ・実施場所 札幌駅西口コンコース ・配付資材「道民家庭の日」啓発ポケットティッシュ及びリーフレット 総計 8,500個 	
(4) 青少年を非行・被害から守る環境づくりの推進	<p>7月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」、「青少年の非行防止道民総ぐるみ運動強調月間」の一環として関係団体と街頭啓発活動を実施したほか、関連事業と連動させながら、非行防止のための諸活動を推進した。</p> <p>○関係団体と協力した街頭啓発活動等の実施 「夏の暴力追放運動」街頭啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共 催 公益財団法人北海道暴力追放センター ・日 時 平成26年7月～8月 (4日間) ・実施場所 地下鉄駅前など札幌駅市内4カ所 ・配布資材「道民家庭の日」ポケットティッシュ 計800個 	

事業名	事業の概要	備考
	<p>また、7月の強調月間での街頭啓発等に係る啓発資材として、「道民家庭の日」ポケットティッシュを各（総合）振興局に配付し、非行防止活動の一層の推進に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配付部数 ポケットティッシュ 計 18,000個 ○麻薬覚せい剤乱用防止キャンペーンビデオ「DRUG」の貸出 麻薬覚せい剤乱用防止キャンペーン映画「DRUG」のビデオテープの貸出について当協会ホームページで周知を図った。 ○未成年者の飲酒・喫煙防止活動の促進 当協会のホームページに喫煙と健康の問題に関するサイトを設け啓発したほか、未成年者喫煙防止対策推進協議会に出席し、未成年者の喫煙防止活動の一層の充実を図った。 ・日 時 平成26年12月10日（水） ・場 所 かでる2・7 6階620会議室 ○有害情報から青少年を守る活動の推進 北海道や学校関係者、情報通信企業などにより構成する北海道青少年有害情報対策実行委員会の一員として、インターネットや携帯電話による有害情報から青少年を守るため、各種啓発活動を進めた。 	
(5)「大人が変われば、子どもも変わる」運動の推進	<p>啓発資料を市町村及び関係機関・団体等に配付したほか、当協会が開催した各種大会等を通じ、運動の周知に努めた。</p> <p>(配付部数) 啓発パンフレット 2,000部</p>	
(6)「北海道青少年のための200冊」の選定推奨	<ul style="list-style-type: none"> ○「北海道青少年のための200冊」普及事業 北海道学校図書館協会、北海道読書推進運動協議会等の協力を得て、青少年の読書普及の一環として「北海道青少年のための200冊」（平成26年度版は、54冊を更新）を選定し、図書目録や啓発ポスターを作成し、全道の幼稚園や小・中・高の学校など関係方面に配付するとともに、ホームページに掲載するなど、良書の情報提供に努めた。 <p>(配付部数) ・平成26年度図書目録 12,000部 ・平成26年度新選図書目録 11,000部 ・200冊啓発ポスター 3,100部</p> <p>(協賛出版社) 37社</p> <ul style="list-style-type: none"> ○第26回読書感想画中央コンクール・第2回全道コンクール 北海道学校図書館協会、毎日新聞社の主催により対象図書として活用された。 ○第60回青少年読書感想文全道コンクール 第40回北海道指定図書読書感想文コンクール 北海道学校図書館協会、毎日新聞社の主催により、「協会長賞(2名)」を贈呈し、青少年の読書の普及活動を支援した。 	
(7) 青少年育成関係団体懇談会の開催	<p>青少年育成関係団体が一堂に会し、相互の団体活動の連携協力や青少年健全育成の効果的な促進について情報交換などを行い、共通認識を深めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○期 日 平成27年2月13日（金） ○場 所 かでる2・7 10階 1050会議室 	

事業名	事業の概要	備考
	<p>○参加団体 14機関・団体</p> <p>○内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各団体活動状況報告 ・話題提供 演題：「児童虐待の現状と今後の課題等」について 説明：北海道保健福祉部子ども未来推進局 自立支援グループ主幹 赤坂 秀彦 ・意見交換 	
(8) 広報活動の推進	<p>○啓発資材の作成・配付</p> <p>「道民家庭の日」絵画コンクール入賞作品12点による平成27年カレンダーを作成し、市町村、小・中学校、関係機関・団体に配付し、青少年育成運動の普及促進に努めた。</p> <p>(配付部数) 平成27年カレンダー 5, 100部</p> <p>○協会機関誌の発行</p> <p>協会の事業報告や関係機関の関連記事など、青少年育成運動の推進に対する理解と関心を高めるため、機関誌「育む」を年2回発行し、各総合振興局・振興局、市町村、関係機関・団体、賛助会員等に配付し、広報啓発を行った。</p> <p>(配付部数) 協会機関誌 4, 000部(各回)</p> <p>○講師派遣の実施</p> <p>(総合) 振興局、市町村、育成団体等が開催する各種研修会に講師を派遣し、全道の青少年育成運動の現状と課題等について講演を行った。</p> <p>(派遣場所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根室地区青少年育成運動推進指導員会研修会 (参加者12名) ・美幌町教育委員会、美幌町青少年育成協議会 (参加者68名) <p>○ホームページ・SNSの活用</p> <p>インターネットの特性を生かし、大会や研究協議会の開催予告及び結果、絵画コンクール作品募集等の記事や出版物の電子版を掲載したほか、新たにSNS(フェイスブック)を活用し、若年層への関心・理解を深めるため、更なる情報発信に努めた。</p> <p>○講演録集の作成・配付</p> <p>青少年問題についての理解を深めるため、北海道青少年育成大会や他の基調講演の内容を取りまとめた講演録集「次代をみつめて'14」を発行し、各市町村・推進指導員・関係機関等に配付した。</p> <p>(配付部数) 講演録集「次代をみつめて'14」 800部</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会名：北海道青少年育成大会 演題：「子どもたちをめぐるネット・ケータイの現状」 講師：藤川 大祐 (千葉大学教育学部教授) ・大会名：青少年育成運動活性化研究協議会 演題：「地域で子どもを育てる」 ～アフタースクールの挑戦～ 講師：平岩 国泰 (特定非営利活動法人放課後 NPOアフタースクール代表理事) ・大会名：平成25年度子ども・若者育成支援のための地域 	

事業名	事業の概要	備考						
	<p>連携推進事業（中央研修会：内閣府主催） 演題：「青少年が生き生きと、幸せに生きる力を育む」 ～放課後の居場所・体験活動の場づくりを通じて～ 講師：明石 要一（千葉大学名誉教授）</p>							
<p>3. 社会参加促進事業</p>	<p>青少年の社会参加を促進するため、地域の青年が地域づくりに主体的に参画し、その活動を通して地域活動の中核的な担い手として成長することを促進するため「北海道青年活動元気づくりプロジェクト」事業を実施するとともに、青年の地域間の交流・ネットワークづくりを促進するため「青年活動リーダー養成講座（フォローアップ研修会）」に取り組んだ。</p>							
<p>(1) 青少年の社会参加等への支援 (北海道青少年基金事業)</p>	<p>北海道青少年基金の充実を図るため、関係機関・団体等に対し募金活動を行った。 また、運用益事業では、青少年団体・グループに助成し、青少年の社会参加活動を促進するとともに、他の模範となる青少年団体を顕彰した。</p> <p>〈募金活動〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各種団体に対し募金等の協力要請 ○新成人記念募金の協力要請 ○道職員に対し募金の協力要請 ○募金箱設置について協力要請 ○北海道青少年育成大会等での募金呼びかけ <p>・基金造成実績</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">今年度募金等実績額</td> <td style="text-align: right;">120万4,688円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">(年度当初予算額 150万円)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">基金累計額</td> <td style="text-align: right;">3億2,808万7,171円</td> </tr> </table> <p>〈運用益交付等事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○助成事業 <ul style="list-style-type: none"> 交付申請団体数49団体（一般） 交付決定団体数49団体 交付総額396万9,000円 ○顕彰事業 <ul style="list-style-type: none"> ・団体の部 <ul style="list-style-type: none"> 推薦団体数：1団体 決定団体数：1団体 （オホーツク地域青年活動プロジェクト（北見市）） ・個人の部 <ul style="list-style-type: none"> 推薦人数：1人 決定人数：1人 （湯谷 拓朗（小樽市）） <p>平成26年9月5日開催の北海道青少年育成大会において表彰状及び盾を贈呈した。</p>	今年度募金等実績額	120万4,688円		(年度当初予算額 150万円)	基金累計額	3億2,808万7,171円	
今年度募金等実績額	120万4,688円							
	(年度当初予算額 150万円)							
基金累計額	3億2,808万7,171円							
<p>(2) 北海道青年活動元気づくりプロジェクト事業の推進</p>	<p>地域の青年団体・グループが行う地域の活性化活動に対し、交付金を交付し活動の推進を図った。 (交付青年団体・グループ名・事業名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○団体名：サタデースクール 事業名：サタデースクール 							

事業名	事業の概要	備考
	<p>期 日：平成26年7月12日～平成27年3月14日 (毎週土曜日)</p> <p>場 所：札幌市(札幌市アカシア若者活動センター)</p> <p>参加者：687名</p> <p>○団体名：オホーツク地域青年活動プロジェクト 事業名：オホーツクMiNiタウンプロジェクト 期 日：平成26年10月4～5日(北見市) 場 所：北見市(北見市端野町公民館メルヘン広場) 参加者：675名</p> <p>○団体名：北見市青年団体-NEXT- 事業名：ふれあいアニマルランド 期 日：平成26年10月12日(北見市) 場 所：北見市(サンドーム北見) 参加者：約1,900名</p>	
<p>(3)青年活動リーダー養成講座 (フォローアップ研修会)の開催</p>	<p>「青年活動リーダー養成講座」のこれまでの受講者に対して、受講後の活動・課題等の交流や地域で活動するために必要なネットワーク等を築くため、一般財団法人北海道青年会館と共催し、フォローアップ研修会を開催した。</p> <p>○期 日 平成26年11月22～23日</p> <p>○会 場 北海道青年会館(札幌市北6条西6丁目)</p> <p>○対 象 平成22～25年度開催の当講座を受講した者</p> <p>○参加者 13名</p> <p>○関係者 (ナビゲーター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MIW工房コミュニケーション・ナビゲーター 姉帯美和子(運営者) ・北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課 社会教育グループ主幹 濱中 昌志 ・ " " 主査 薄葉 康 ・ " " 芳村 桐子 ・石狩教育局教育支援課社会教育指導班社会教育主事 一ノ関太郎 ・渡島教育局教育支援課社会教育指導班社会教育主事 渋田 博希 ・留萌教育局教育支援課社会教育指導班主査 爲広 千里 ・根室教育局教育支援課社会教育指導班主査 熱海 桂子 <p>○内 容</p> <p>(1日目)</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 開講、オリエンテーション (2) 演習(グループワーク、ペアワーク等) (3) 講話 演題：「やればできる!!」～逆境が生む創造～ 講師：田中 宏明(有限会社エアードライブ代表取締役) <p>(2日目)</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 演習(グループワーク、個人ワーク等) (2) ふり返り、閉講 	

事業名	事業の概要	備考
4. 国や中央団体等との連携	内閣府主催の子ども・若者育成支援のための中央研修会や北海道・東北ブロック研修会に青少年育成運動推進指導員等に参加させるとともに、独立行政法人国立青少年教育振興機構との連携により、「少年の主張全道大会」を開催した。	
(1) 北海道・東北ブロック研修会及び中央研修会の参加	《北海道・東北ブロック研修会》 ○日 時 平成26年10月24日(金) ○場 所 コラッセ福島(福島県) ○参加者 北海道青少年育成運動推進指導員等 4名 《中央研修会》 ○日 時 平成26年11月25日(火)～26日(水) ○場 所 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都) ○参加者 北海道青少年育成運動推進指導員等 5名	
(2) 「少年の主張」全道大会の開催(北海道と共催)	(独) 国立青少年教育振興機構から業務を受託し「少年の主張」全道大会を開催するとともに、発表内容を掲載した作品集を作成し、全道の中学校、市町村、関係機関等に配付したほか、ホームページ及び協会機関誌に掲載した。 (配付部数) 「少年の主張」全道大会発表作品集 1, 100部	
(3) 北海道児童館連絡協議会の事務局業務の受託	道内の児童館で構成する北海道児童館連絡協議会の事務局業務を行った。 ○北海道児童館連絡協議会総会の開催 ・日 時 平成26年7月11日(金) ・場 所 第二道通ビル5階506会議室	
(4) 「日本の次世代リーダー養成塾」道内高等学校生の派遣事業に対する協力	本道の青少年の自立を促し、ボランティアや国際貢献、起業などに取り組む意欲を向上させるため、次代の北海道を担う青少年育成協議会の構成機関として協力した。	